



平成三十年年度 修了式

第73号
校長 久高利美子

三月十九日(火)平成三十年年度の修了式を行いました。3名の生徒代表あいさつを紹介します。

〈1学年代表 大城 絢聖さん〉

私が東江中学校の一員として初めて門をくぐった日から早一年が経ちました。この一年で色々な事がたくさんありました。その中で私をもっとも印象に残っているのは、十月に行われた合唱コンクールです。一年一組それぞれが自由曲に励むため、二組とライバル同士になっていました。しかし、クラスがなかなか一つにまとまらず、二組との合同練習で大差を感じました。先生に叱られ、「もっとやらなくてもいい」と言われてしまいました。初めはショックだったけどそれでも毎日、みんなで一生懸命練習しました。そして本番の舞台上でも失敗せず、みんなで歌いきることができました。結果は銀賞。惜しくも金賞に手は届きませんでした。私としてはとてもうれしかったです。

みなんで一つの事を成し遂げるのは決して簡単なことではありませんでしたが、全員ががんばることに意味があるというところを改めて実感しました。このことを研ぎわすべ、心から生かすことが出来るようにしたいです。その一方、学習面では、反省すべき点もありませんでした。テスト前の勉強では前日に遅い時間まで勉強し、あいまいに覚えたいせいで悲惨な点数を取ってしまい、もっと授業の復習をやっておけ

ばと勉強方法の甘さがあったと公開しました。2年生ではこの失敗を忘れずに、回りの人も声をかけながらがんばりたいと思っています。明日からは春休みです。短い休みですが、休み明けには2年生になり、新入生も入学して私達も先輩となります。この休みの期間で一年間を振り返り、少しでもいい先輩になれるようにしたいです。

〈2学年代表 照屋 来夢さん〉

今日で学校生活の締めくくりです。皆さんはこの一年を振り返ってみて残りしたことはないでしょうか。私は四月に立てた目標の半分も達成できないまま今日を迎えてしまいました。来月からいよいよ最終学年です。もう一度自分の目標を見つめ直し新しい学年をむかえたいと思います。

私達2学年の今年度を振り返って見ると色々な事がありました。運動会などの学校行事では、三年生のリードのもとみんなで力を合わせ素晴らしい団結力を見ることが出来ました。学習面では、聞く態度が悪いと先生方から注意を受けることが多くありました。修学旅行の取り組みを境に少しずつではありますがこのような課題も克服することができるようになってきました。そして、その時の団結力を生かして、三年生になったら、先輩から慕われるリーダーになり、東江中学校の顔になれるようにみんなで力をせ、学校行事や学校生活、部活動などを楽しんでいきたいと思っています。そして受験という大きな壁に向かって、四十三期全員が合格できるように頑張っていきたいと思えます。

〈生徒会代表 宮城 直季さん〉

生徒会執行部は第四十三代生徒会長の下地類君を先頭に8名で一月から活動を開始しました。毎朝のあいさつ運動は生活向上委員会と正面玄関で行っています。みんながあいさつで明るい気持ちになって朝から学習に取り組んでほしいです。執行部には早起きが苦手な人が多いですが、全員でしっかり活動できるようにしたいです。一月には「先輩にエールを送ろう大作戦」卒業式では「校歌斉唱で感動させよう！みんなが校歌うたい隊・花道を演出しよう！シャボン玉と拍手・花のアーチを作ろう！心を込めて一人二花咲かせよう」の取り組みを行いました。さらに今年は「先輩方に贈るなんでもランキング」を企画しました。どれも先輩方の卒業を祝い、喜んでほしいという気持ちから行いました。新しいことに取り組むのは大変で質問を考えたり、アンケート用紙を作ったり、それを集計してまとめたりとあることが多く大変でしたがみんなが楽しく取り組めてさらに先輩に喜んでくれたのならうれしいです。来週は生徒会主催の新生オリエンションが行われます。部活生の皆さんは部活動紹介を通して学校生活の楽しさを伝え、安心して入学式を迎えられるような雰囲気を作ってください。また、オリエンションに参加する皆さんが「校歌うたい隊」となりますので、力を貸してね。

みなさん ナイスファイトでした。